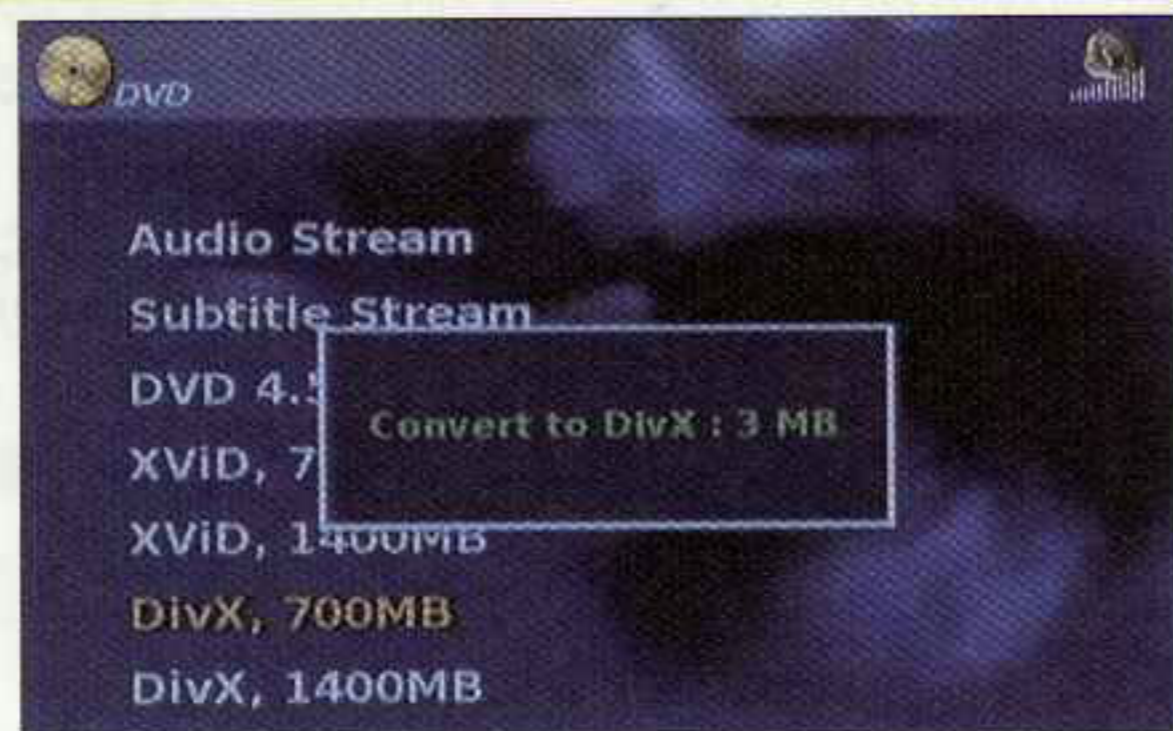


ここがスゴいよ HDR-3160 **その2** 驚愕のファイル変換機能!

HDR-3160のスーパーな機能はコレだけではない。充実のファイル変換機能を兼ね備えているのだ。たとえば音楽CD。HDDへのバックアップは当たり前のようにできるが、ただコピーするだけでなくMP3にエンコードすることも可能。PCがなくとも容量の軽いMP3を作成できるのは非常にうれしい。さらにDVD-Video (MPEG-2) をDivXやXVIDにエンコードすることも可能! 容量を圧縮できるのはもちろん、音声情報、字幕情報を選択することも可能。PCがなくてはできなかった動画のエンコードがこれ1台でできるというのはまさに革命的だ。人によってはエンコード専用マシンとして使うのもいいのではないだろうか?



4.5GバイトのDVD-videoを700MバイトのDivx (aviファイル) に変換してみた。時間は約2時間30分ほどかかったが…。

HDR-3160で可能な変換コマンド

●DVD4.7G	ファイルを片面1層DVD (4.7Gバイトディスク) に保存できるサイズに変換
●XVID700MB	700MバイトのCD 1枚に保存できるサイズのXvidファイルに変換
●XVID1400MB	700MバイトのCD 2枚に保存できるサイズのXvidファイルに変換
●DIVX700MB	700MバイトのCD 1枚に保存できるサイズのDivxファイルに変換
●DIVX1400MB	700MバイトのCD 2枚に保存できるサイズのDivxファイルに変換

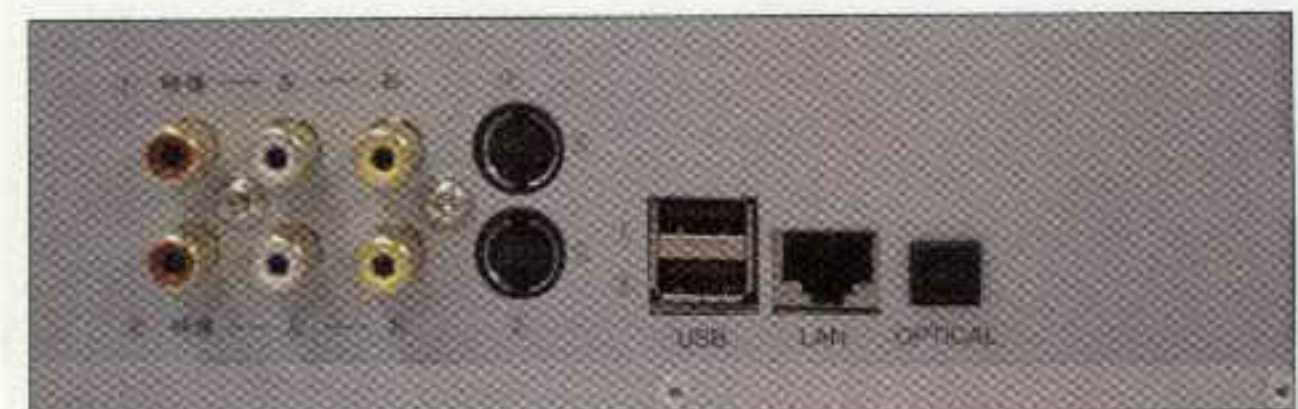


左がDVD-Video、上がDivx。元ファイルの容量が小さければ画面の劣化はそれほど気にならない。700MバイトのCD-Rへの書き込みは、たった5分30秒で完了。

4.5Gバイト
↓
700Mバイトに!

ここがスゴいよ HDR-3160 **その3** PCとの連携でスゴいことが…!

HDDレコーダを使っている人なら、誰もが一度は「HDDレコーダで録画したデータを抜いてPCに移したいなあ」と考えるだろう。HDR-3160では、それが簡単にできてしまうのだ! 本体背面を見ればわかると思うが、LAN端子とUSB端子が付いている。そう、HDR-3160はPCとLANケーブルでつなげばPC上から中身を見ることができるのだ。つまりHDR-3160でリッピングしたDVD-VideoやエンコードしたDivxをPCのHDDに移したり、そのまま再生したりできるというわけ。もちろん、LANでつなげるので複数のPCからアクセスすることも可能。やる気になれば動画サーバとしても使えるのだ。



本体背面にあるUSB端子とLAN端子。これまでのデュプリケータには見られなかった仕様だ。



LANケーブルでつなぐと、PC上でHDR-3160はこうに見える。ネットワークが構築されていれば、もちろん複数のPCから見ることができる。



HDR-3160内のDivxファイルはAVIフォルダ内にある。PCに移したい場合は、移したいファイルをPC上の任意のフォルダにドラッグ&ドロップするだけ。

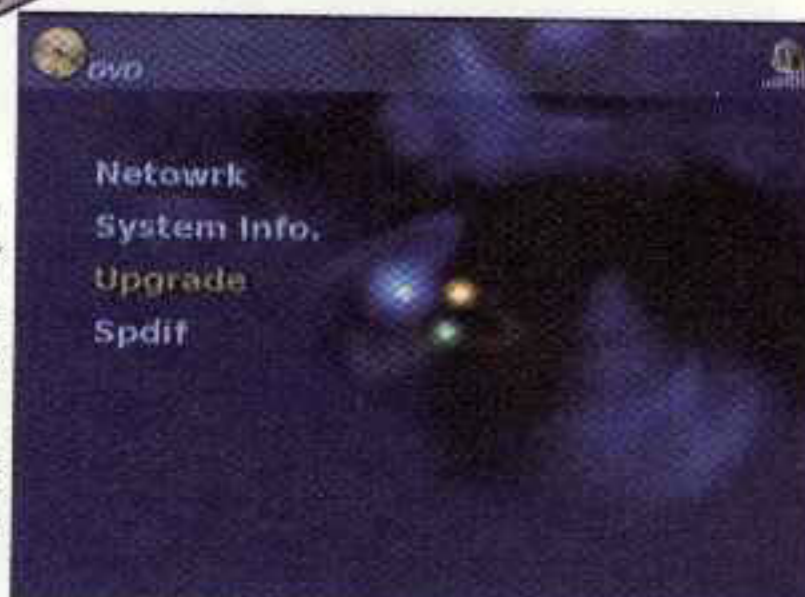
ここがスゴいよ HDR-3160 **その4** HDDの大容量化も自由自在!

HDR-3160はその名の通り160GバイトのHDDを内蔵しているが、DVD-Videoをいっぱい集めてDVDジュークボックスを作成すると160Gバイトの容量では少々物足りないと感じてくるだろう。しかし、「その③」で触れたようにHDR-3160にはUSB端子が搭載されているので、USB接続の外付けHDDを装着すれば、簡単に大容量化ができてしまうのではないかと。そこで、I-O DATA製150Gバイトの外付けHDDを用意し、接続してみた……が、残念ながら認識されなかった。さっそくメーカーに問い合わせしてみたところ、本誌発売日(1月16日)のころには新型のファームウェアが登場しており、そのファームにアップグレードすれば、ほとんどのメーカーのUSB接続の外付けHDDが接続できるようになるとのこと。つまりファームアップさえすれば、大容量化が簡単にできてしまうというわけだ。なお、このアップグレードは、ユーザー登録しておけば無償で行えるとのこと。



I-O-DATA製の外付けHDD。このメーカーはもちろん、ほとんどのメーカーのHDDがファームウェアをアップするだけで使用可能に!

ファームウェアのアップグレードは、ユーザー登録してディスクをもらうか、LANを通じてかで行える。なお、ファームの最新情報はPLANTEC公式サイトなどでチェックできる。



衝撃の光景が! HDR-3160はPC!?

これほどの機能を持つHDR-3160。当然、どんな構造になっているのか見たくてしまうのが人間の性。というわけで、ガワを外して中を見ることに(注:ガワを外してしまうと保証が効かなくなるのであくまでも自己責任で)。すると、PCそのものと言っても過言ではない光景が目飛び込んできた。マザーボードにはAMDのCPUが載っており、サムスン製のメモリ(256Mバイト)が2本、AGPスロットにはグラフィックカードであるGeforce5200が装着されていた。気になるHDDはこちらも3.5インチ、IDE接続のサムスン製のもの。おそらくOSはこのHDDに書き込まれていると考えられるので、HDD間でOSをコンバートさせる技術さえ持っていれば、内蔵HDDを大容量のものに置き換えることも可能だろう。また、今回は検証できなかったが、増設用の端子とスペースを見る



「これはeMachines?」と目を疑いたくなるような構造。よく考えれば、ケースもPCケースに近いサイズ。



HDDを入れるスペース、空きIDEコネクタもあるので、HDR-3160をPCと考えれば増設もできそう。

ことができたので、同型番の新たなHDDを追加することも可能であるかもしれない。

欲張りなAVマニアには…

「HDDレコーダやPCはすでに持っているのに、高性能な画像安定装置が欲しい!」という人には同じPLANTECから同時発売されたCRX-8000がオススメ。フレームシンクロナイザやペロシティエラー補正機能を搭載し、機器を選ばず乱れた映像を修正してくれる優れたもの。購入しやすい価格も魅力だ。



CRX-8000
発売元: PLANTEC
市場価格:
25,000円程度

HDR-3160は「買い」か!?

これまで挙げてきた以外にも、HDR-3160には「JPEGの再生とCD/DVDへの書き込み」「ファームウェアアップグレード機能」など、多彩な機能が存在する。いままでPCでしかできなかったことをPCレスで実現するという前代未聞のハードだ。値段は少々張るが、デュプリケータ機能はもちろん、多機能なDVDレコーダの付いたPCと考えれば、たいへんお得と言える。簡単にコピーやエンコードがしたい初心者はもちろん、マニアにも間違いなくオススメできるハードだ。